



1液速乾 水性コアシェル型床用塗料

厚生労働省指針13物質
文部科学省基準6物質
国土交通省-品確法
非配合
F☆☆☆☆

フローン アクアファースト遮熱

ご好評のフローンアクアファーストに遮熱タイプ新登場!!

- 速乾
- 無鉛
- 遮熱
- 低臭
- 防塵

容量・標準塗装面積

品名	容量	標準塗装面積(コンクリート面の場合)
フローンアクアファースト遮熱	15kg	0.15kg/㎡×2回塗りで50㎡
	4kg	0.15kg/㎡×2回塗りで13.3㎡
フローン水性プライマーF	15kg	0.12~0.15kg/㎡×1回塗りで100~125㎡
	4kg	0.12~0.15kg/㎡×1回塗りで26~33㎡

※塗装面積は下地状況により異なりますのでご注意ください。

用途

階段、共用廊下、一般工場、遊歩道、駐車場、事務所、その他工期が限られている箇所に最適です。

色相

- 常備色(6色)
- 標準色(15色) ※受注生産
- 指定色

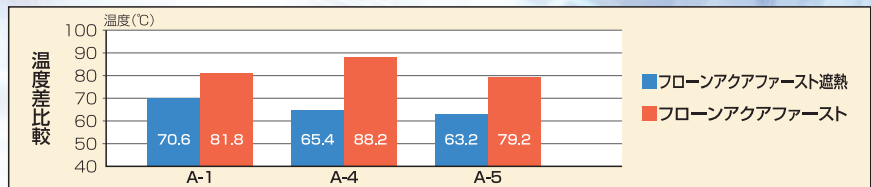
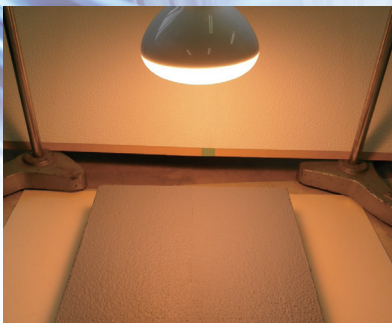
遮熱性能

遮熱性能評価方法

コンクリート板にフローンアクアファースト遮熱及びフローンアクアファーストを塗布し、測定温度差で評価

試験条件

コンクリート板/厚さ6cm、赤外線照射距離/20cm、Kett赤外線ランプ/100V400Wを1時間照射
表面温度測定(色:A-1 マスカットグリーン、A-4 フォックスグレー、A-5 サンドベージュ)



	フローンアクアファースト遮熱	フローンアクアファースト	温度差
A-1 マスカットグリーン	70.6°C	81.8°C	11.2°C
A-4 フォックスグレー	65.4°C	88.2°C	22.8°C
A-5 サンドベージュ	63.2°C	79.2°C	16.0°C

※グリーン、グレー、ベージュ系各色について10°C以上の遮熱効果が得られています。

■乾燥性

温度	10°C	23°C	30°C
上塗り可能時間	60分	40分	30分
歩行可能時間	60分	40分	30分
重作業可能時間	24時間	15時間	12時間

※乾燥時間は、施工環境によって多少前後しますのでご注意ください。

■性状・物性

試験項目	試験結果	試験条件
外観	着色粘稠液	
粘度	12000mPa·s	B型粘度計23°C
引っかかり硬度	B	JIS K 5600鉛筆法
摩耗質量	100mg	JIS K 7204 テーバー式摩耗試験機、 CS-17 9.8N 回転数1000回転
鏡面光沢度	3	JIS K 5600入射角60度
耐候性	異常なし	ウェザーメーター500時間
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	JIS K 56001-4-1

■耐薬品性・耐油性

試験項目	結果	試験条件
耐水性	◎	水道水、一ヶ月浸漬
耐塩水性	◎	20%塩水、スポット試験48時間
耐酸性	◎	10%塩酸、スポット試験48時間
	◎	10%硫酸、スポット試験48時間
	◎	10%硝酸、スポット試験48時間
	◎	10%酢酸、スポット試験48時間
耐アルカリ性	△	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
	△	10%アンモニア、スポット試験48時間
耐生活材性	◎	飽和砂糖水、スポット試験48時間
	◎	醤油、スポット試験48時間
	◎	ソース、スポット試験48時間
耐油性	◎	サラダ油、スポット試験48時間
	◎	ガソリン、スポット試験48時間
	△	灯油、スポット試験48時間
	◎	エンジンオイル、スポット試験48時間
	◎	切削油、スポット試験48時間

※判定 ◎=異常なし/△=やや白化 スポット試験はJIS A 5705に準拠
※試験結果は弊社における試験に基づくもので保証値ではありません。

標準工法

コーティング工法(コンクリート面)(総合塗膜厚 約0.2mm)

工程	材料名	使用量	上塗り可能時間(23℃)	備考
1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
2	フローン水性プライマーF	0.15	50分~48時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。吸い込みの激しい場合は2回以上塗布して下さい。
3	フローンアクアファースト遮熱水道水	0.15 0.0075~0.015	40分~48時間	フローンアクアファースト遮熱を水道水で5~10%希釈し、混合、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
4	フローンアクアファースト遮熱水道水	0.15 0.0075~0.015	40分 (軽歩行可能時間)	

※フローン水性プライマーFに使用したローラー、ハケ等はフローンアクアファースト遮熱と共用しないで下さい。

ミキシング防滑工法(コンクリート面)(総合塗膜厚 約0.6mm)

工程	材料名	使用量	上塗り可能時間(23℃)	備考
1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
2	フローン水性プライマーF	0.15	50分~48時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。吸い込みの激しい場合は2回以上塗布して下さい。
3	フローンアクアファースト遮熱 フローン珪砂6号 水道水	0.25 0.05 0.0125~0.025	1~48時間	フローンアクアファースト遮熱1に対し、フローン珪砂6号を0.2(重量比)の割合で計量、混合し水道水で5~10%希釈し中毛ローラー、ハケにて塗布。
4	フローンアクアファースト遮熱 フローン珪砂6号 水道水	0.25 0.05 0.0125~0.025	1時間 (軽歩行可能時間)	

※フローン水性プライマーFに使用したローラー、ハケ等はフローンアクアファースト遮熱と共用しないで下さい。

◆施工上の注意事項

1. 下地は、砂、ゴミ、ホコリ、油等を完全に除去して下さい。また、新設コンクリート・モルタル面の表面には、レタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ずワイヤー付きポリッシャー等でレタンス層を完全に除去して下さい。
2. コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響により塗膜層のフクレ、硬化不良を、またアルカリの影響により密着不良を招く場合があります。したがって、含水率が、高周波水分計ケット社製HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつ、pH9.5以下になってから施工して下さい。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。また、降雨直後で下地に水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
3. コンクリート・モルタル等に発生した亀裂は、Uカットして、フローンエポパテ等を充填し、亀裂面が平滑になるように研磨して下さい。
4. 施工後23℃では、40分程度経過後、歩行可能となります。ただし、この時間帯は、温度、使用量、換気状態によって変化しますのでご注意ください。
5. 駐車場に施工する場合、車の急発進、急停車により塗膜が損傷する場合がありますのでご注意ください。
6. 厚塗りした場合、重量物により凹みを生じる可能性があります。標準塗布量を厳守して下さい。
7. 指定色でイエロー・赤系等の明度及び彩度の高い色は、隠ぺい性が低いので上塗り工程1層目に共色(調色品:白=1:1混合品)の塗装をおすすめします。また、下地の色、凹凸の状況、下地の吸い込み等の条件によっては、上塗り工程が標準塗装回数より多くなる事があります。
8. 床面に貼り付けたラインテープ等を除去する際、塗膜が剥がれる場合があります。
9. 淡彩色は、他の色と比べて汚れが目立ちやすい場合があります。
10. 塗装する際には、ローラーネットをご使用下さい。さらに、きれいに仕上げる為に、中毛ローラーにてタテ、ヨコ(十字)で塗装して下さい。
11. ご使用になる環境を充分に考慮して適正な材料と施工法を決定して下さい。
12. フローン水性プライマーFに使用したローラー、ハケ等はフローンアクアファースト遮熱と共用しないで下さい。他の容器に移す場合はプラスチック容器を使用して下さい。金属容器を使用すると錆が発生する可能性があります。
13. 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。硬化時間、硬化後の性能は施工時の温度に大きく影響されます。

5℃以下 乾燥後退 (密着不良、ひび割れ、カブリ等発生)	15℃~25℃ 最適	30℃以上 乾燥促進 (作業性悪化による仕上り不良)
------------------------------------	---------------	----------------------------------

また、施工時の環境が悪い場合(低温時、高温時、換気が充分でない室内)は塗膜に欠陥(ヒビ割れ、硬化不良等)が発生する恐れがありますので、窓、ドアを開放する、又は送風機等を使用し、換気を良くして下さい。

14. 表面乾燥が早く、皮はりをしやすいため、開封後は速やかに使い切して下さい。
15. 直接皮膚に触れないように充分に注意して下さい。もし、触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
16. フローンアクアファースト遮熱は、水を希釈剤としているため、凍結する恐れがあります。凍結したものは、正常な塗膜が得られないことがあるため、凍結させないように保管して下さい。
17. 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき充分な管理をお願いします。
18. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行ってください。
19. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。
20. 容器、塗装具などを洗浄した廃液は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産廃処理業者に処理を依頼して下さい。

業務用	<p>《共通注意事項》1.取扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。 2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏感症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)</p> <p>※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。</p>
-----	--

●お問い合わせは・・・

東日本塗料株式会社



本社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063
 北海道出張所 TEL.090(8586)2214 FAX.03(3697)2306